

科目名	地域経済産業論 Regional Innovation		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・火・3 限	春・火・6 限	-	-
担当教員名	里見 泰啓	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>開放性があり域外との相互作用が強いことが地域経済の特徴である。このような地域経済の成長性を左右するのが域外需要に対応する地域産業であり、地域の豊かさを支えるのが域内需要に対応する地域産業である。地域産業は、資源の賦存量や集積プロセスなどを背景にそれぞれの地域が特徴を持っています。この講義は、地域経済や地域産業の構造を把握し、それぞれが持つ特性を理解するための枠組みを示す。</p> <p>地域は、マクロ経済やグローバル経済の影響をうけるが、新しい事業創出の苗床となることもあり、地域の特性を活かしてグローバル化の下で発展の契機となる試み多くみられている。この講義は、地域に根ざした中堅・中小企業を中心に、このような取り組みが示唆する意味を明らかにしていく。地域のキーパーソンとして、地域経済や地域産業の現状を捉え発展可能性を考える基礎を身に付けることを目標とする。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 週目：地域経済と地域産業とは何か 講義の内容と進め方、地域経済と地域産業の捉え方、グローバル化と地域経済</p> <p>2 週目：日本の地域構造 地域の概念、産業構造の変化と地域構造、人口動態からみた地域構造</p> <p>3 週目：地域経済と所得形成 地域経済計算とその概念、地域所得の決定の概念</p> <p>4 週目：地域成長の経済分析 需要主導型モデル、供給主導型モデル</p> <p>5 週目：地域間交易 地域間交易のパターン、地域間交易の経済効果、地域産業連関分析の概念</p> <p>6 週目：産業の立地 立地論の考え方、外部経済と産業集積</p> <p>7 週目：地域産業と地域経済 産業の集積要因、産業集積と外部経済</p> <p>8 週目：産業連関表の概要 産業連関表の仕組み、波及効果の分析</p> <p>9 週目：中間まとめ 地域経済学のまとめ、中間テスト</p> <p>10 週目：地場産業の企業間関係 地場産業における相互補完関係、協同組合など業界団体の役割</p> <p>11 週目：中山間地域における内発的産業創出 地域資源を活かした事業創出、地域住民の協力関係、キーパーソンと企業家的精神</p>				

12 週目：日本経済の成熟化及びグローバル化の進展と地域産業

地域産業の存立・発展条件の変化、地域産業を構成する企業の対応

13 週目：新潟県の農と食の関連産業

ゲストスピーカーによる講義

14 週目：中小企業の漸進的革新

中小企業の漸進的イノベーション、地域産業の持続的発展へのインパクト

15 週目：まとめ

本講義の重要概念の整理とまとめ、地域発展についての討議

<講義の進め方>

講義は、地域経済学を中心に地域研究の成果を解説する部分と地域産業の活性化の実例を解説する部分がある。今年度はゲストスピーカーによる地域産業についての講義を開く。なお、ゲストスピーカーによる講義は日程を変更する場合がある。

小レポートをもとに、受講生とのディスカッションを重視する回がある。また、小テストを実施する予定である。

<準備学習内容>

SNSに掲載する講義資料に事前に目を通してください。また、授業のなかで紹介した文献、講義資料による復習を重視してください。

<教科書及び教材>

教科書は特に指定しない。講義ノートを配布する。

<参考書>

適宜、文献や資料を提示する。

岡田 知弘 川瀬 光義 鈴木 誠 (2007)『国際化時代の地域経済学 第3版』 有斐閣

山崎 朗 杉浦 勝章 山本 匡毅 他 (2016)『地域政策』 中央経済社

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。

レポート 50% 中間テスト 50%

<履修条件> 特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー> 火曜5限 事前に連絡してください。

<その他> 特になし。